



R18

Skew Lines.

ADULT ONLY

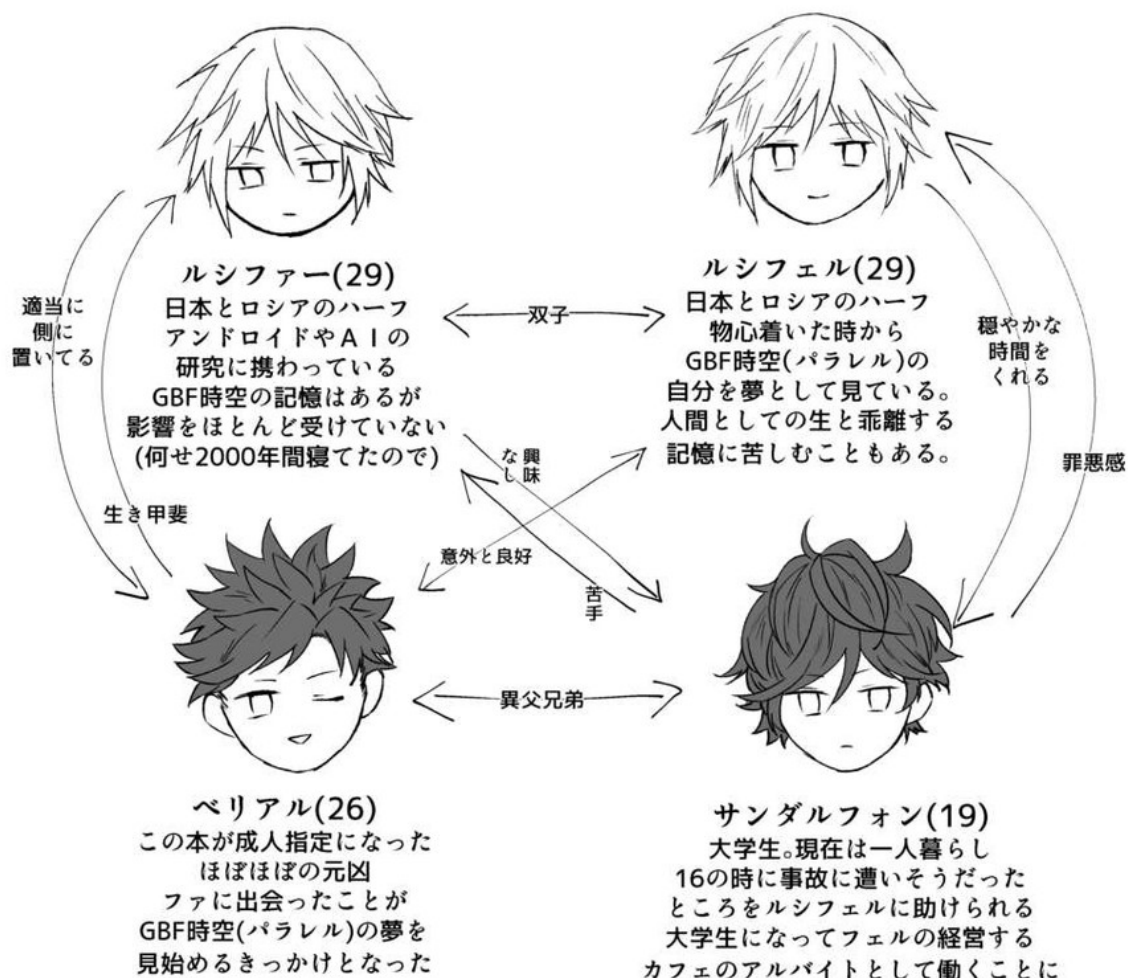
※注意※

CP：ファーベリ・サンルシ

R18要素：ベリ×モブ女(近親相姦含)のみ

描写があるもの：両親や過去の捏造

～人物相関図～



運命、というものが
もし存在するとしたら

きつとそれは
この瞬間だったと思う



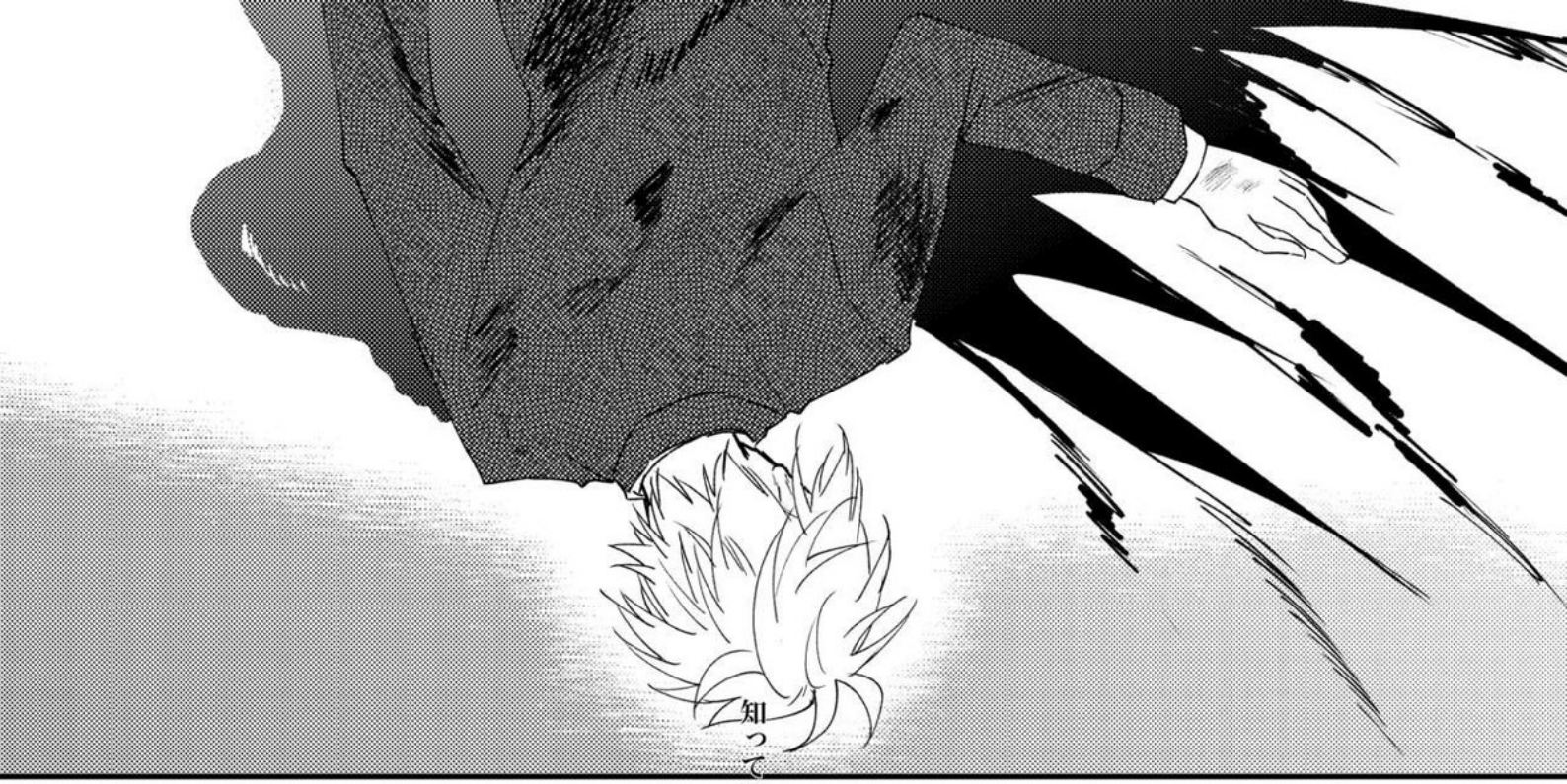
脳裏に
焼き付く色は



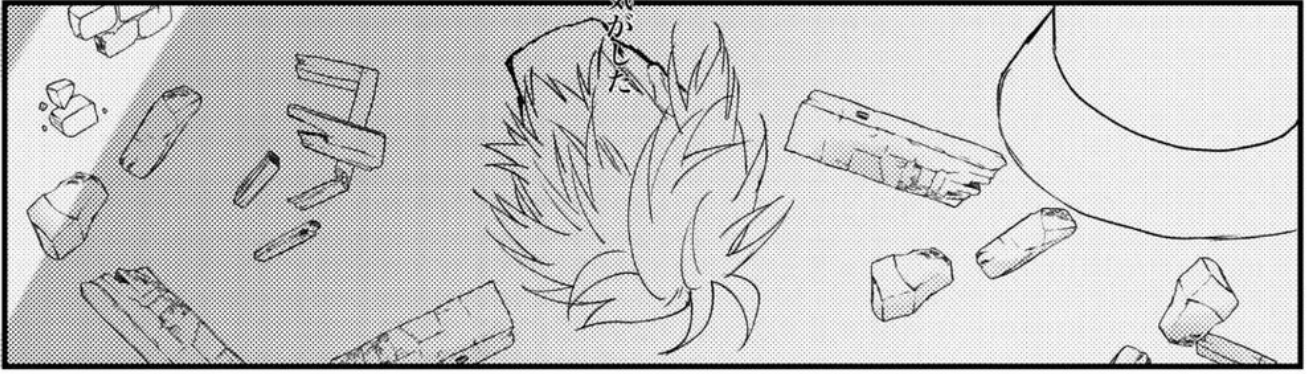
空の色に反して
とりわけ赤く

変わり果てた
その人の姿を

誰か
救って



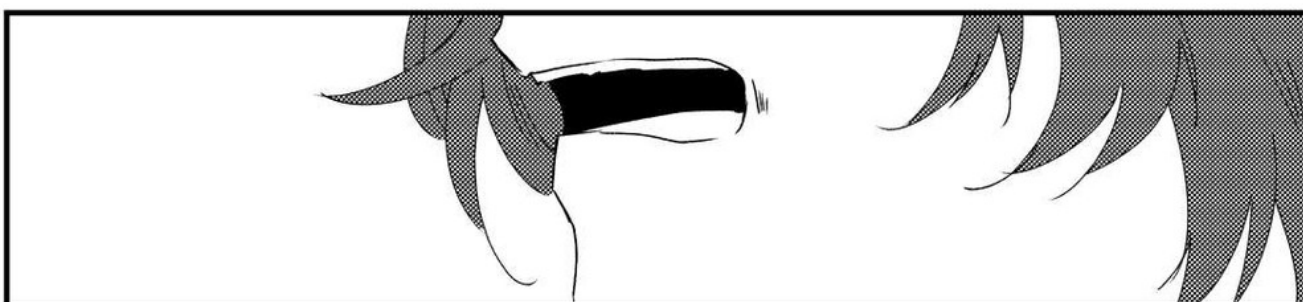
知っている気がした





それからずっと

夢を
見てきたんだ



二千年間焦がれて

拗らせて

喪って



確かに
飲んでるとこ
見たこと
無かったかも



珈琲飲んで
意外！



そうして



気が
狂いそうだ

勉強に
集中したいんだ…



…テスト前
だから

な



人格が支配されて
いくような
心地さえして

…本当に、行くの？



身に覚えのない
記憶に



もう何度も
しただろう



その話は



大学なら
家からでも
通える距離
でしょう
それに、



生活は
自分でどうにか
する



そうして
辿り着いた



とつくの昔に
破綻した
家を出て



いらっしやいませ

その人は優しく
包み込むように

ただ静かに
微笑んだ

公務員志望
だったって





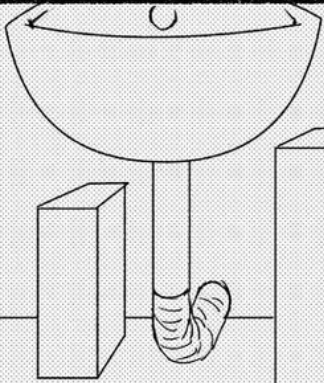
まともに仕事も
できないでしょう、
あれじゃあ

後遺症が
残るらしいって
それも
肝臓に…

しかも
外務省
でしょう？

役割も
存在意義も

可哀想にね



生まれてきた
意味さえ



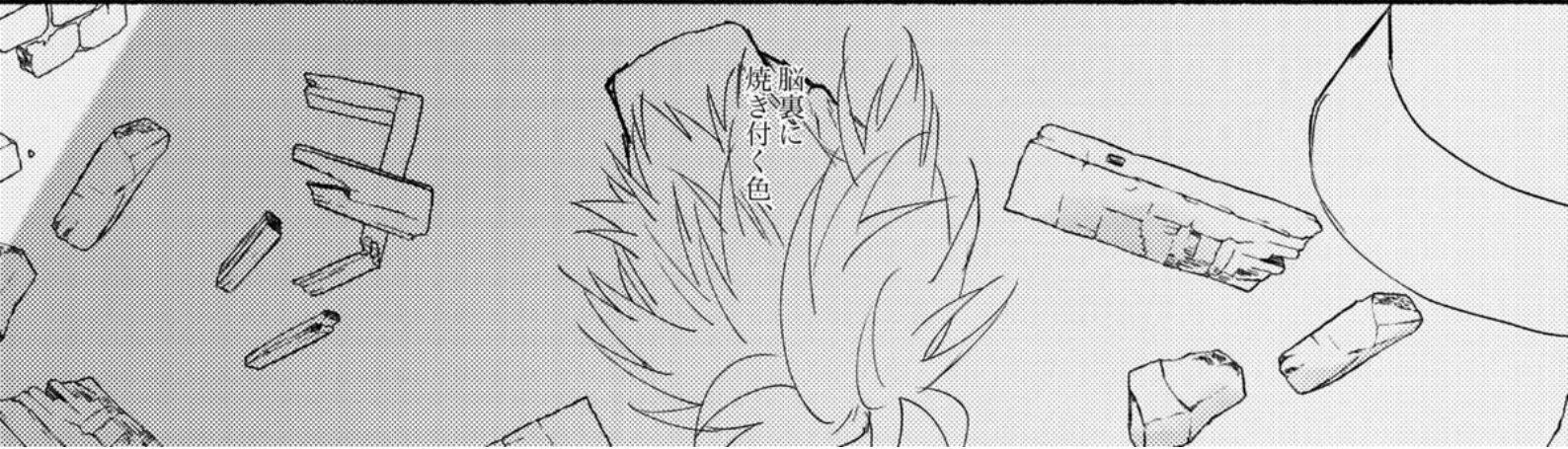
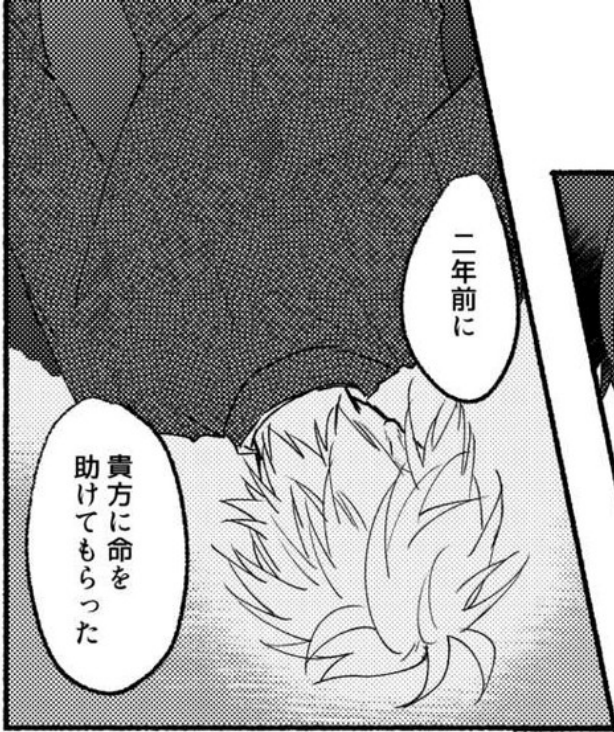
この世界では
皆等しく
持ち合わせが
ない

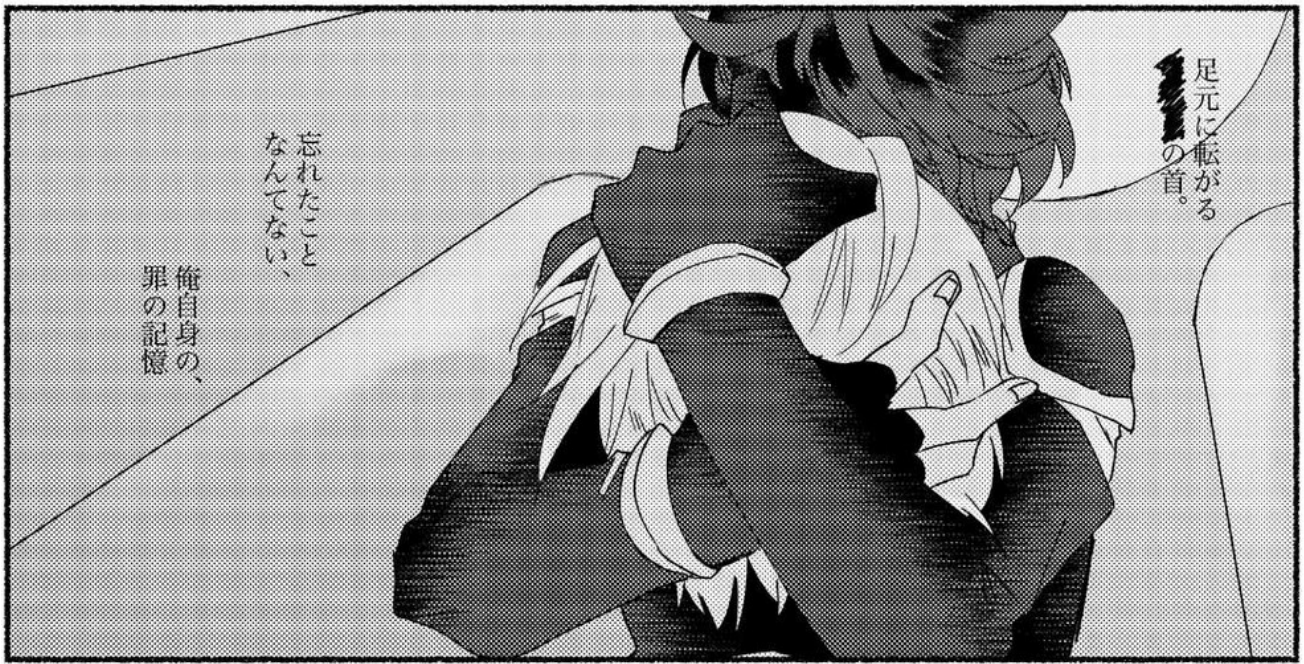


…あの、

良かった
珈琲を
入れるのは
趣味のような
ものでね

…おいしいです





足元に転がる
の首。

忘れたこと
なんてない、

俺自身の、
罪の記憶



俺は、



…君が良ければ

喜んで

罰を望んだのかもしれない

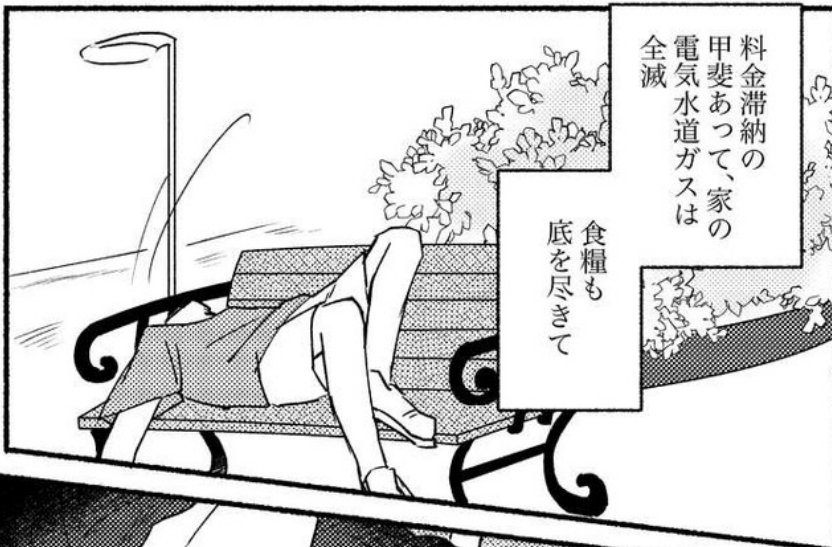
執着と無縁の
人生だったと
言われれば
嘘になるが

それを意味の
無いことだと
諦めたのは
いつの事だったか

だって
オレたちは
初めから何も



何
つ持っていない



料金滞納の
甲斐あって、家の
電気水道ガスは
全滅

食糧も
底を尽きて



父親が
蒸発してから
今日で半月



もーだめかな

これ

タンスに残された
なけなしの
ヘソクリで
食いつなぐ
中学三年の夏





面倒な
奴だな

クラクラする

うわ
頭



ただ一人の男に
自分の全てを
捧げていたのだから！

その目を見れば
強烈だった

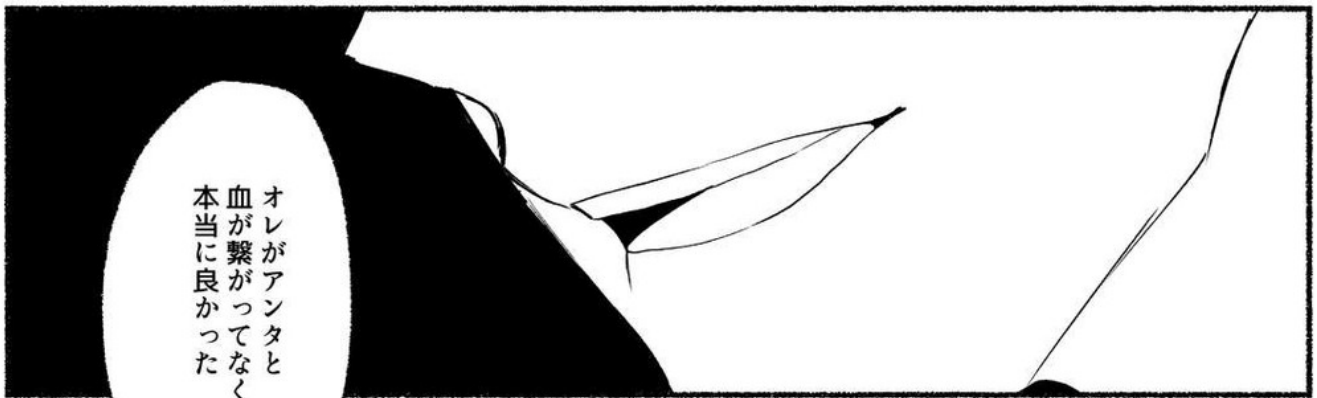
何だ、それは
息が止まるほど
二十年前



ただ一人の男に
自分の全てを
捧げていたのだから！







オレがアンタと
血が繋がってなくて
本当に良かった



血縁者
同士じゃ

結婚も子供も
出来ないし



あ、別に女として
生まれたかったかと
言われると
そうでもない

結婚とかよりは
ハウスキーパーとか
世話係とか

オレとしては
そういうのが
いいかなあ

間違っても
食いつばぐれて
惨めに野垂れ死ぬような
醜態を晒すような
奴には任せられんな

アンタのおかげで
未遂だよ
手敵しいなあ

知識は
あらゆる所から

貪欲に

要領良く
吸収するべきだ

お前には
それが
出来るだろう

曲がりなりにも
狡知を司る男と
同質の魂を
持っているのだから

アンタに造られた
訳じゃないから
性能面は劣るかもよ

ハードウェアの
出来はともかくとして、
狡知の記憶から
得るものは
大きいと思うがな

何せ
こちらの一生の
二十倍以上は
生きているんだ

蓄積された
知識量も経験も
桁違いだろう

フフ
それもそうだ



非力な
子供のままは

もうやめた



これからは
上手く
やってみせるさ



10
OCTOBER

干渉する
ことは
極力避けた

あからさまに
面倒くさ
がってるの
わかったし

見かねた
親戚の家に
居候という形で
引き取られたが、

結局、
それから父親が
戻ってくることは
無く



知識と金を
積み立てる
手段として
悪くはなかったが

OK

春から
通い始めた
通信制の高校も
アルバイトも



やっぱり
これが一番
手の取り早いな



そんなある日



母さん？



……どうして
そんな平気そうな
顔でいるの

私は貴方を
捨てた
母親なのに、



やっぱり
そうだな

懐かしい姿が
見えたから、
つい



……
……
……
どうして



あの日から
つくづく痛感する

離婚で晒し者になっただって
自業自得なのに

家族を省みた
ことなんて
一度もなかった

あの人いつも
世間体ばかり
気にして

知は力だと

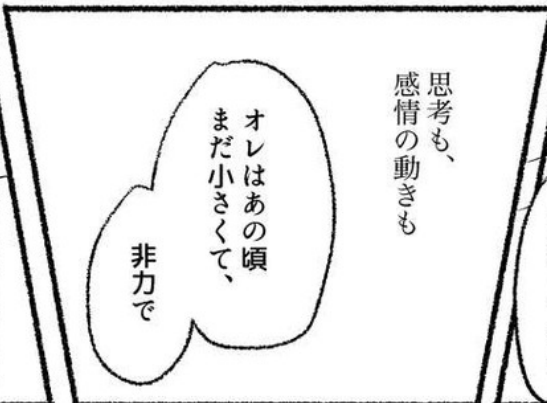
今思えば
おかしかったよな



……父さん
三年前に
失踪したんだ



手に取るように
解る



オレはあの頃
まだ小さくて、
非力で

思考も、
感情の動きも



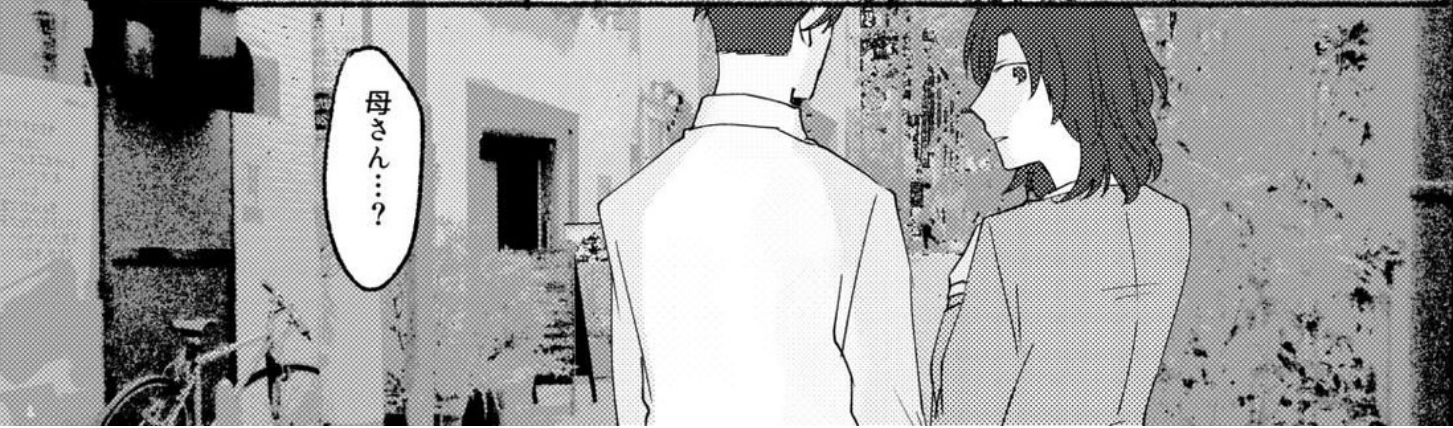
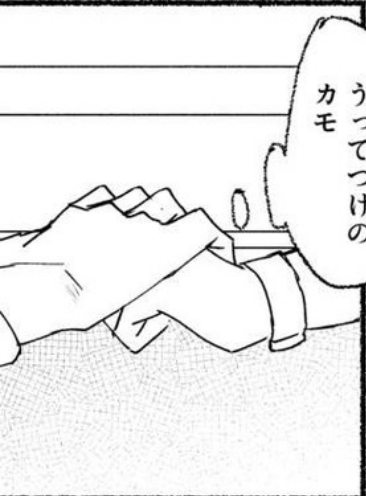
辛かったよな

アンタは
間違ってる



欲しい言葉を
与えてやれる

支えて
あげられなくて
ごめんな





その
男、は



一体、だれ…

どうして、
ここに
ち 違うの



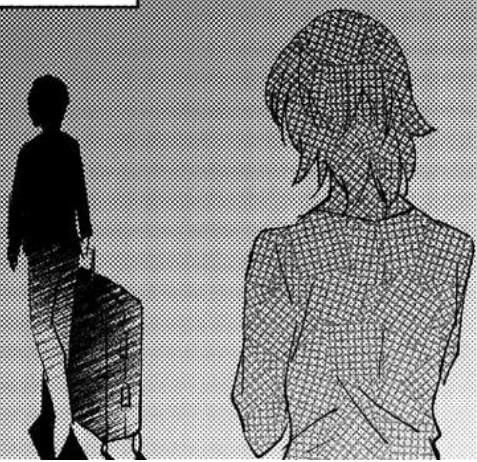
違うの
これは

え
世間さまっ

母が築いた
幸福な家庭
とやらは

案外簡単に
崩壊したようで

離婚はしていない
ようだけど、
旦那は家を
出て行ったらしい





元々浮気調査を
入れられていた
くらいには
疑われていた
ようだし

時間の問題
だったようにも
思われるが

なんだ

案外
呆気ないな

まじっから
探さ直さか！

この身体も

関係性も

この世界では
随分と脆く
不確定で

なんだか少し

笑えてしまった



変わった？
どのへんが

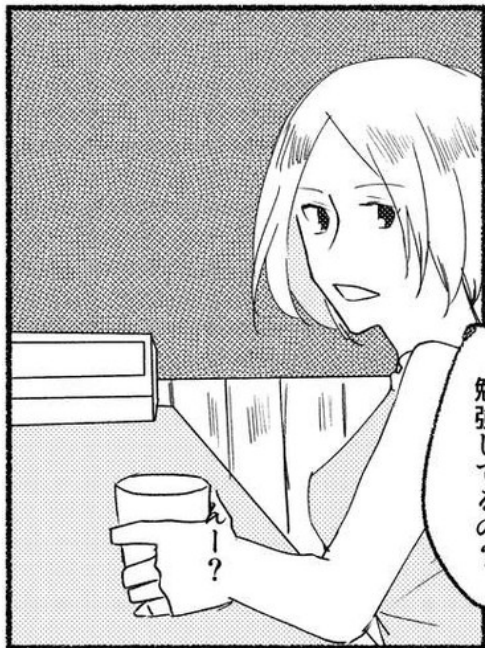
なんか
頭良くなった

何それ

まあでも
確かに



髪もちょっと
変わったよね



へー!?意外
なんの
勉強してるの?



今ちょっと
勉強中では
あるんだよね

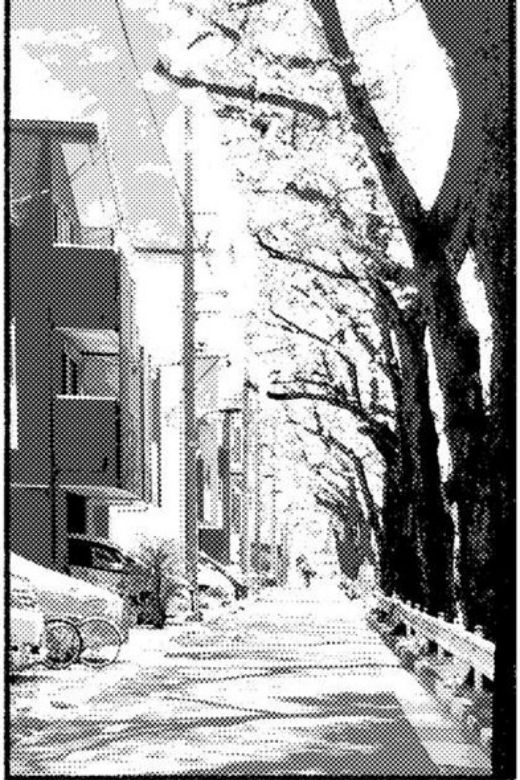


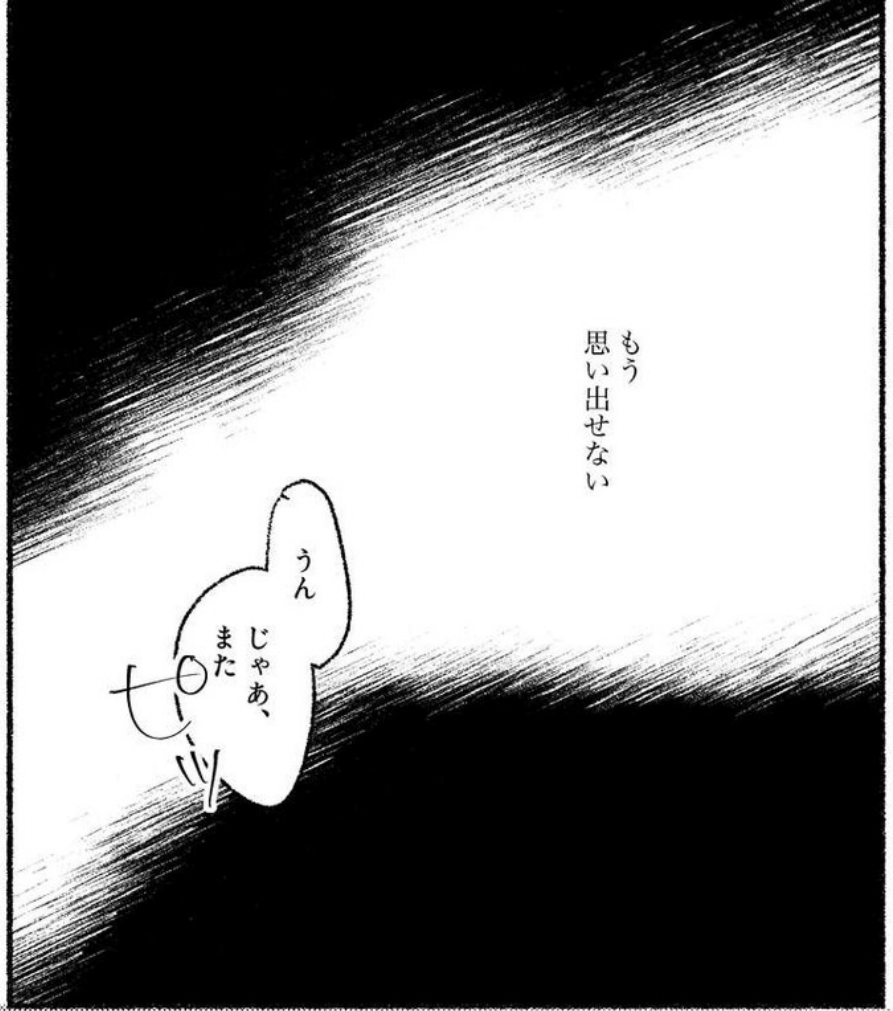
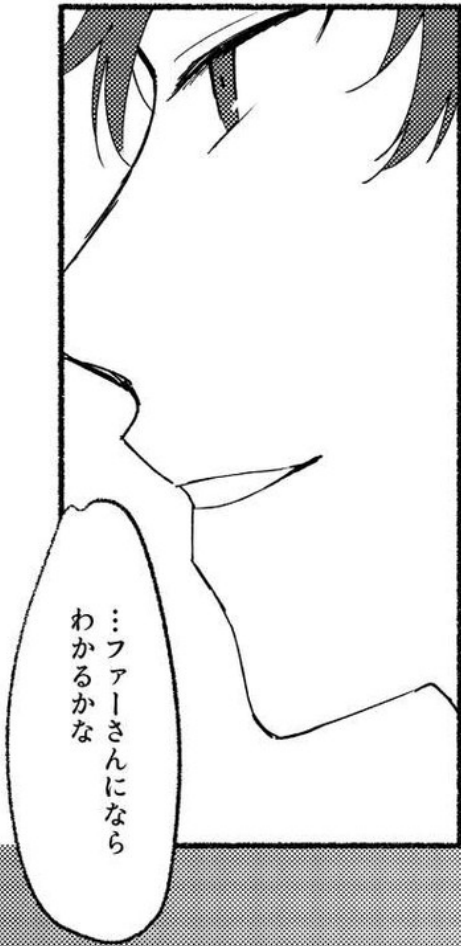
ヒミツ

人を騙し
翻弄する
ための
知恵の話さ



そろそろ、かな





もう
思い出せない



Q. 姦淫以外に
真っ当に仕事を
してたのはなぜ？



料理の経験が
なかったからさ

ファーさんには
ちゃんとしたご飯
食べてもらわないと

なと
第10回が
うるさい



勿論だ
いい結果が
出せるよう
応援している

来月から試験期間に
入るので、二週間ほど
休みを頂けますか



すみません、
霧さん



ありがとうございます

ああ、そうだ
ちょうどこの前
取り寄せた豆が
届いたから
少し持って
いくといい



勉強もより
捗るだろう

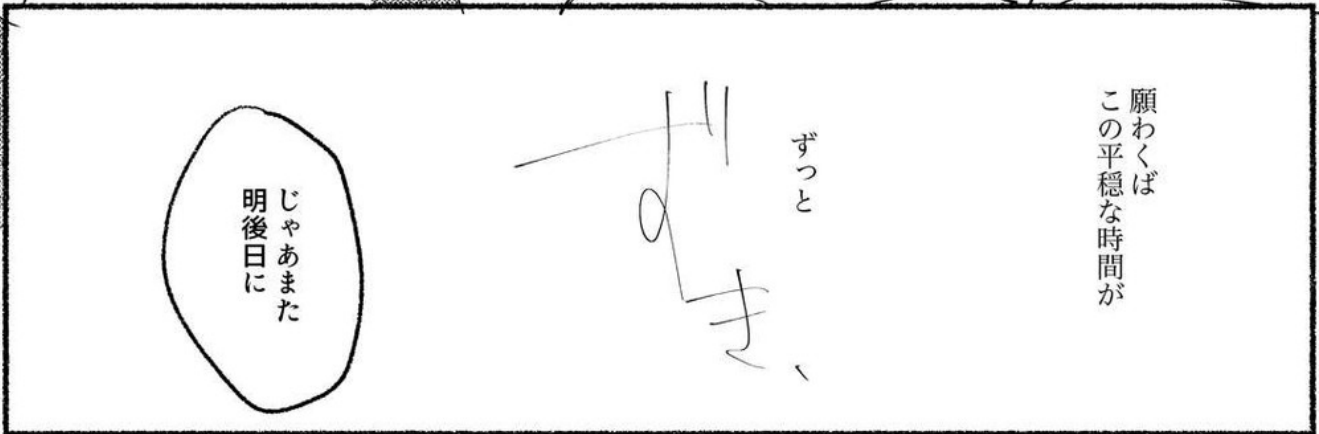
いいんですか？
…じゃあ、



穏やかに
笑う顔が好きだ



お言葉に
甘えて



願わくば
この平穏な時間が

ずっと

ま、

じゃあまた
明後日に

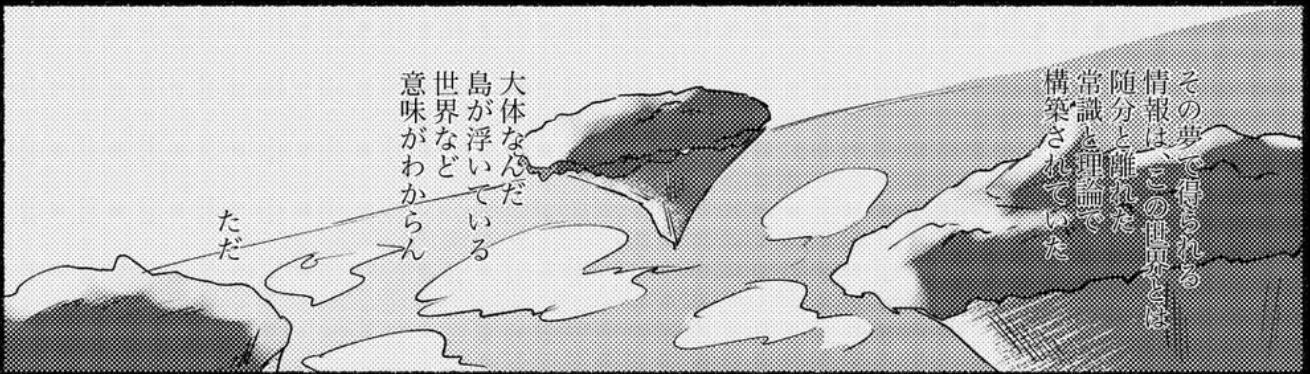


休みの分まで
しっかり
働きますから！



ああ
待っている

それは、
物心ついた時から
常に意識の片隅に
あつたように思う



その夢で得られる
情報は、この世界とは
随分と離れた
常識と理論で
構築されていた

大体なんだ
島が浮いている
世界など
意味がわからん

ただ

人間と同じだけの
知能を持った
個体の創造

これについては
興味があった

俺の弟が
俺と同じように
こちらで人間として
生きていることを
考えると

ルシファーという
男の才能は
かなり異質で
突出していたの
だと思っ



家庭環境はと言え、
いわゆる英才教育の
度を超えた理想を
押し付けられて
生きてきたが

俺も弟も
案外それに
応えてしまう
ものだから

家族関係は
そこまで
劣悪でもなかった





弟とは

多くのものを
共有し、
分かち合っ
て生きてきた

自分と対等な
立場の人間

自分の存在を
証明する

絶対的で



唯一無二の
存在

弟くん、
事故にあったん
だって？

出世コース
確約だったのに
残念だね



…悪かったよ



何か…

にしては随分と
機嫌が悪い
みたいだけど



意識は戻っているし、
病状も少しづつだが
回復に向かっている

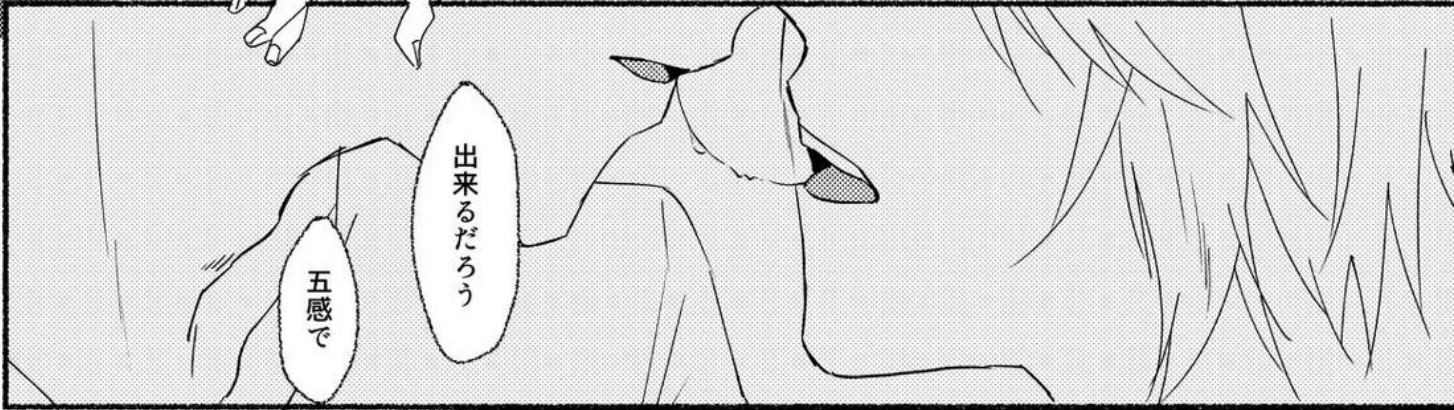




じゃあ
オレたちは？

信じるように
できていない





向こうでのキスは
挨拶だぞ

蘇あつ...

それは
狡くない？

この関係には
どのような名が
つくのか

その答えには
オレも彼も
興味がなかった

オレはこれを
愛と呼ぶけど

彼が何を
思おうが
関係ないし

欲しいのは
愛情じゃない

欲しいのは

存在理由



あの日のことを、
彼には時々
「後悔していますか」
と聞かれるけれど

後悔など
していないと
言っても、信じて
もらえないんだ



あの

覚えていますか
俺のこと

その言葉に
一瞬揺らいだ



彼も知って
いるのだろうか

私が彼を
知っていたことに

気づいて
いたのだろうか

サンダルフォン





帰り際、小さく



青ざめた顔で
どうして、
とだけ呟いて

本当に小さく
そう呼んだ名前に
彼は反応した

どっぴり



どうして
命を投げ打つてまで
この少年を助けたのか

そうすることが
正しくて、人として
あるべき姿だと
思ったからだ

本当に？



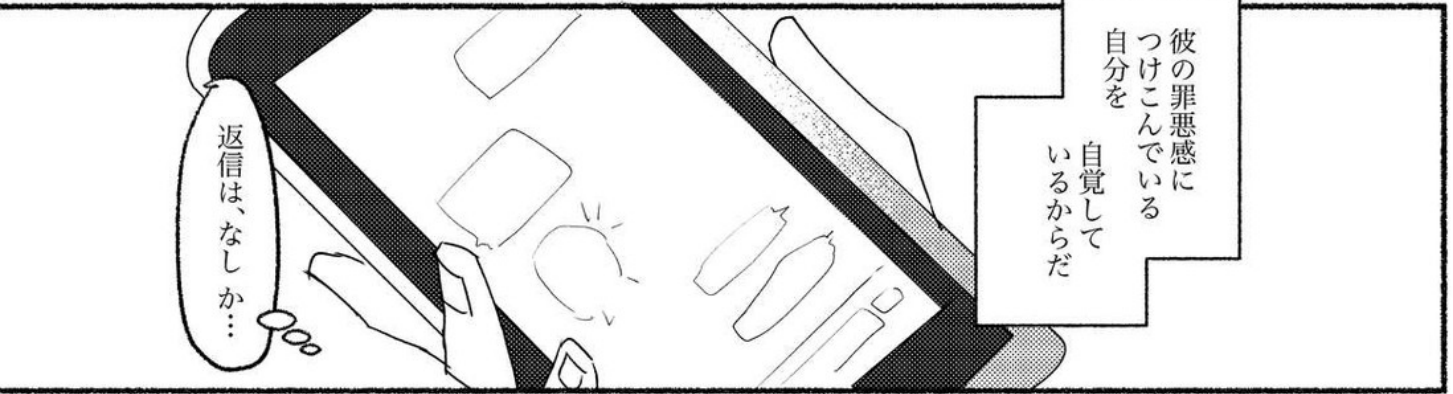
彼のことを
知っていたから

守りたかった

それでは
いけないのか？

自分に言い訳を
するのは何故？

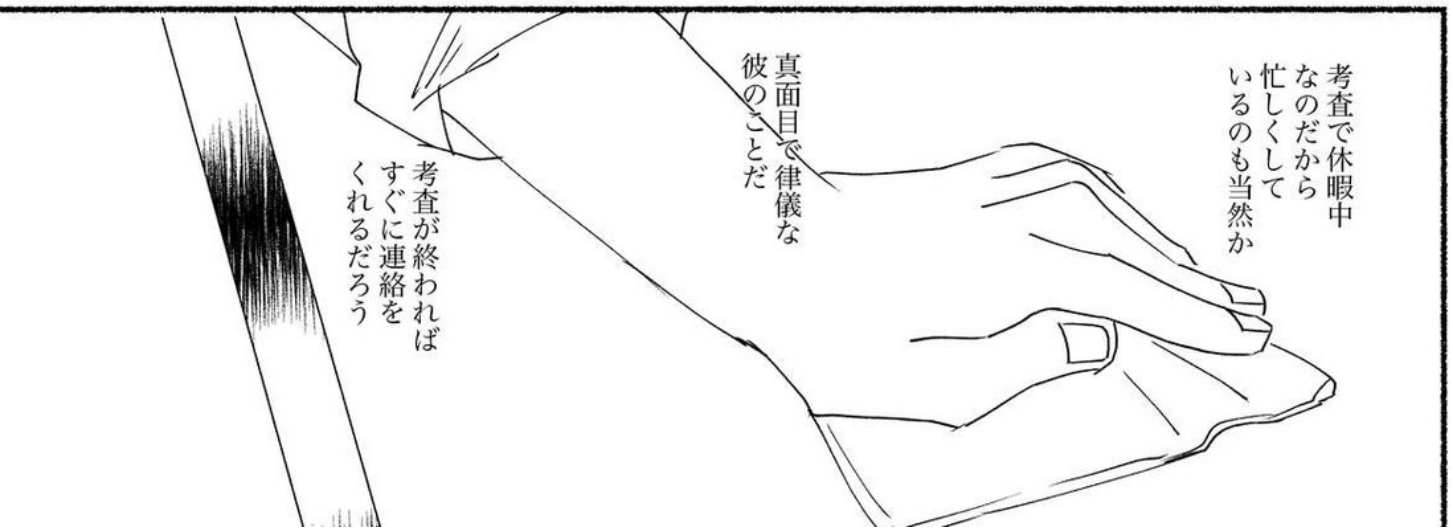
そんなこと、
決まっている



彼の罪悪感に
つけこんでいる
自分を

自覚して
いるからだ

返信は、なしか…



考查で休暇中
なのだから
忙しくして
いるのも当然か

真面目で律儀な
彼のことだ

考查が終われば
すぐに連絡を
くれるだろう



きつと

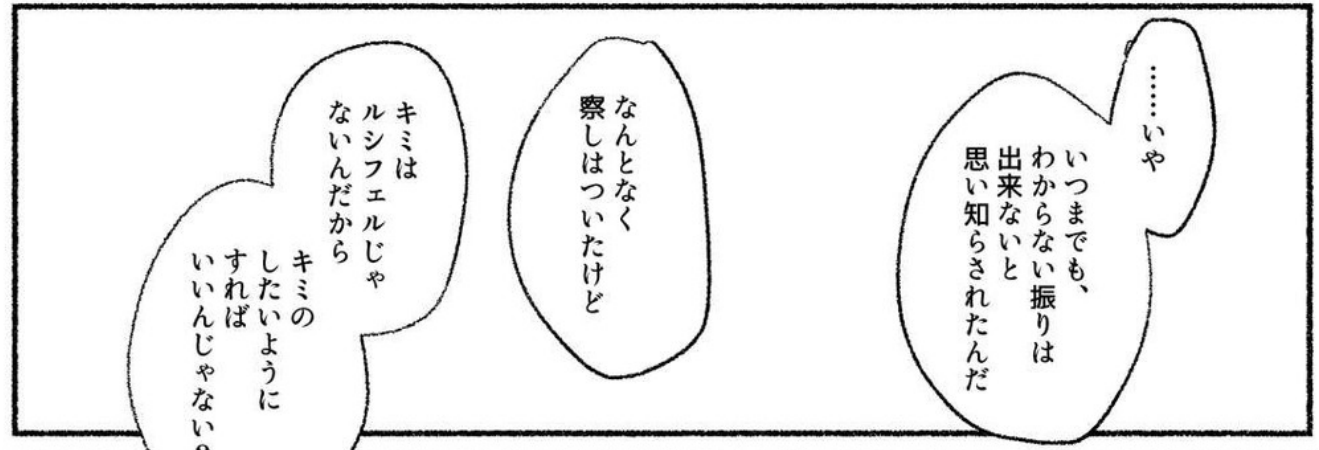
何事も
無かつたかの
ように

カ
ラ
リ
カ
ラ
リ

…君がここに
顔を出すのは
珍しいな
いらっしやいませ

そういうキミこそ、
珍しく辛気臭い顔を
してるじゃないか

何かあった？



……いや
いつまでも、
わからない振りは
出来ない
思い知らされたんだ

なんとなく
察しはついたけど

キミは
ルシフェルじゃ
ないんだから
キミの
したいように
すれば
いいんじゃない？



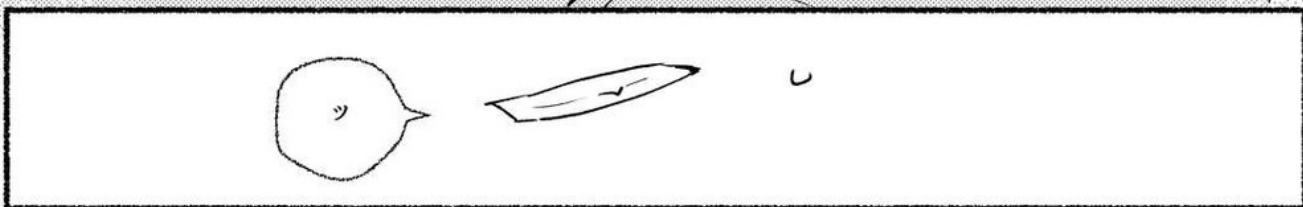
キミは
一体何に

完璧である
ことを
強いられて
いるんだ？





目が合った瞬間に



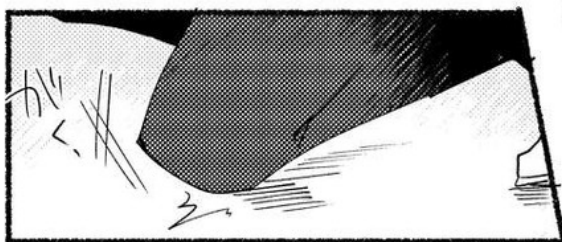
それは
紛れもない



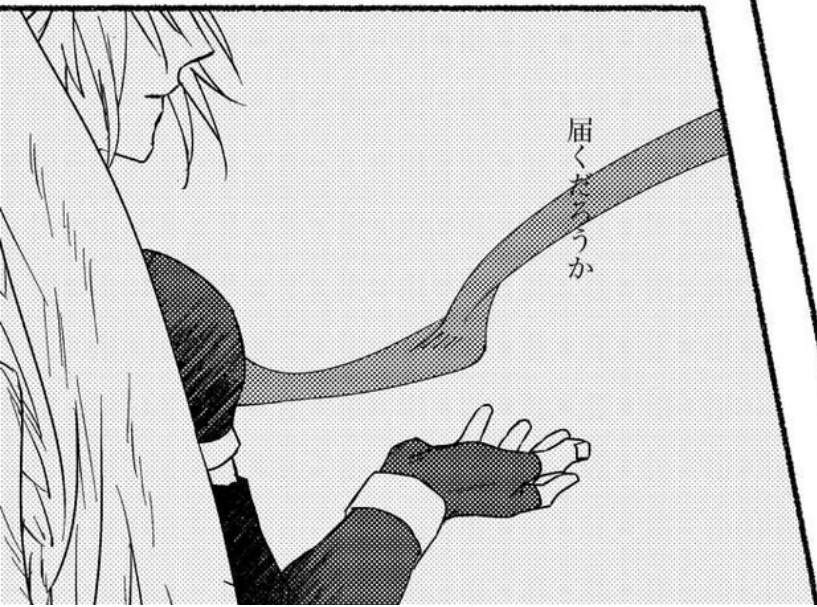
あの時

行かないでくれ……!

言えなかった
本音だ



届くだろうか





~~~~ツアンタ

届いただろうか

自分の  
身体の状態  
分かってるのか!?



俺の事なんて  
放っておけば  
いいだろう

手伝いを  
申し出たのも  
贖罪のためだ  
全部己が  
救われないだけの  
偽善だったんだよ



アンタはそれに  
気づいてたんだろう

だったら…

それでもいいと  
思ったんだ

君と共に  
過ごせるなら



付け込んで  
いたんだ  
君の罪悪感に

いや、違う



今日はそれを

謝ろうと  
思ってた

そうしたら  
もう、



.....  
ハア



終わりに  
してくれて  
構わないから

自分のことを  
顧みない所、  
本当に  
同じなんですわね

……

喪失と自罰に  
囚われた  
記憶の中で

謝らなくちゃ  
いけないのは  
俺も同じです

でも、  
だからこそ

それでも  
潰えることの  
無かった光

終わりになんて  
したくありません

罪滅ぼしの為  
だけじゃなくて

代わりに  
なることは  
出来なくても

俺は貴方と  
一緒にいたい



もちろんそれは  
ただの夢で

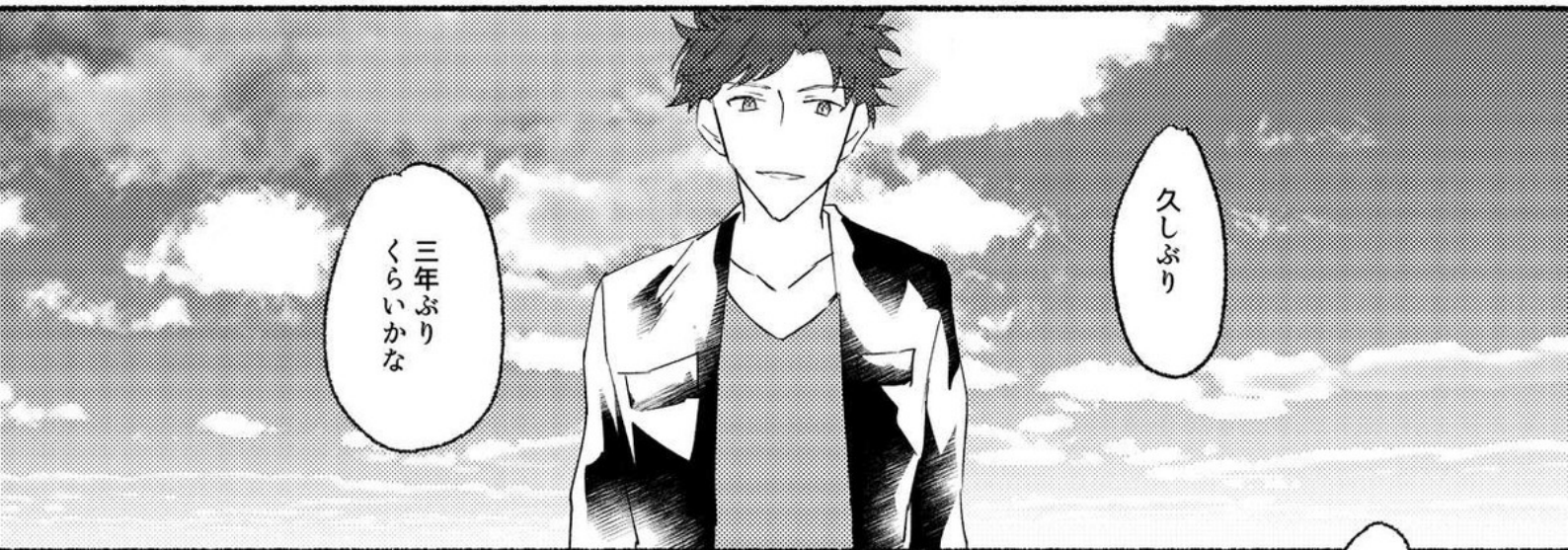
今生きている  
自分たちには  
随分と遠い  
話だったが



どうにも  
他人事のように  
思えなかった

それだけの  
話だ





三年ぶり  
くらいかな

久しぶり



あれ以来  
連絡もよく  
取り合ってる



アンタと違って、  
オレのことを  
随分と気にかけて  
くれてね



.....  
何故お前が  
俺の家を  
知っている

アンタの  
弟クンに  
聞いたんだよ



フフ  
それなりに、  
だよ

会うのはこれが  
二回目だったが

お互いにそんな  
気まずさを  
今更感じる  
筈もなかった



まさかとは思うが  
お前等仲が  
いいのか？



こいつは度々  
俺の元に  
顔を見せては

家事炊事を  
都合よくこなして  
帰っていった

人工知能ねえ

人間と同じだけの  
知能を持った道具

そういうの  
好きだよ  
ねアンタ



食事における栄養管理、  
家計や店舗の  
収支会計管理、  
遠隔診療に労働代替

退化のための進化、  
停滞のための発展

人間は怠ける  
一方だな

ゆきとどいた  
生活ってやつ？

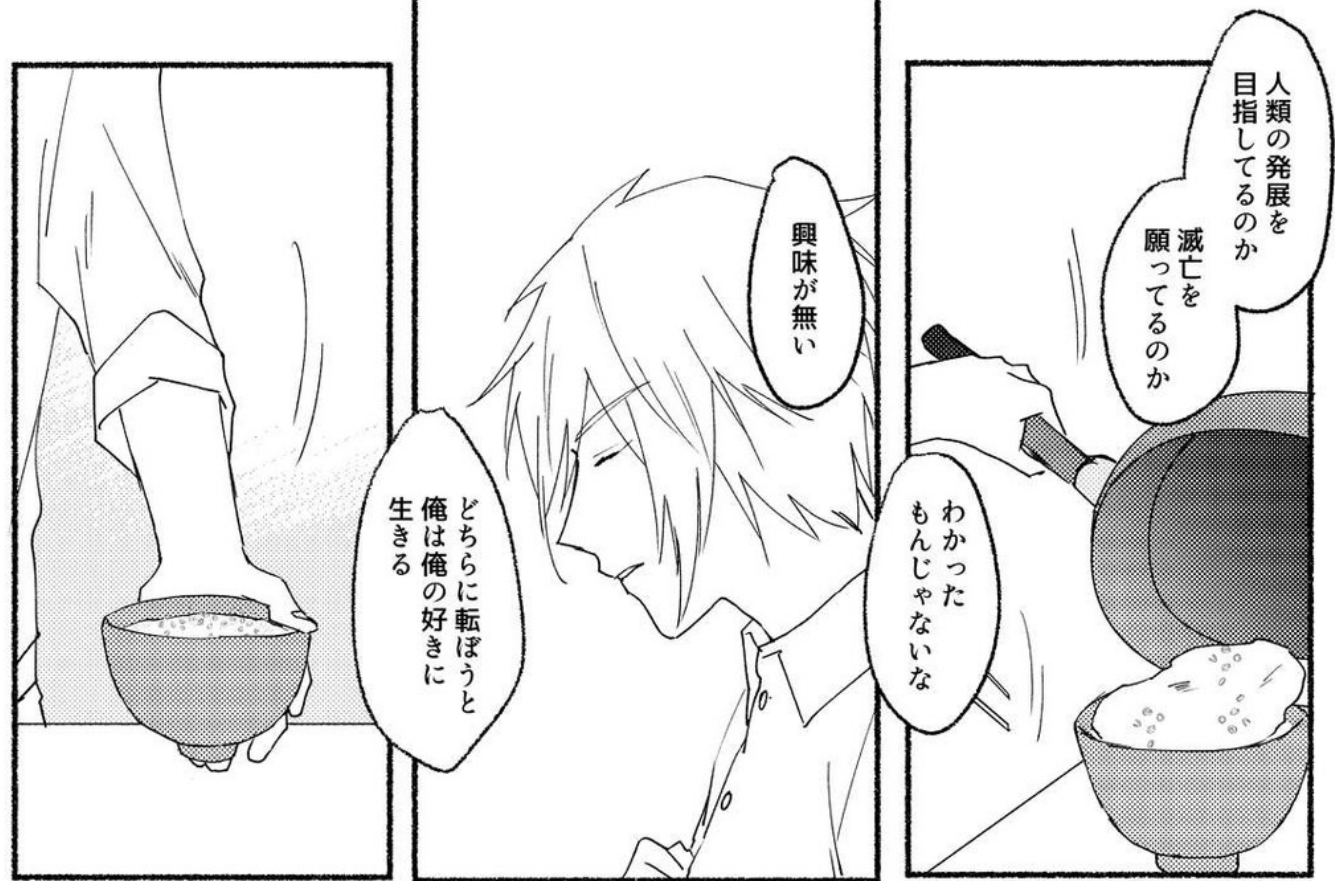
オレとしては、  
完成した人工知能が  
人間を必要ないし  
有害だと認識する  
可能性に  
興味があるけど



人間の制御下に  
置けなくなった  
場合は  
有り得るだろうな

滅びの  
末路としては  
妥当なところ  
だろう

己の利を  
過剰に追求する上で、  
それなりのリスクは  
覚悟しておくべきだ



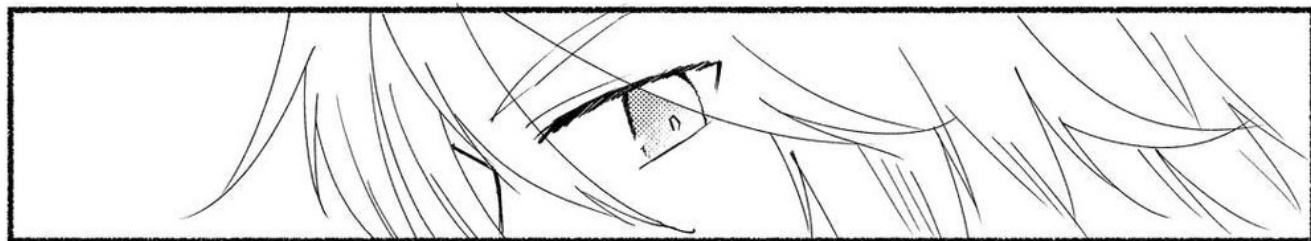
人類の発展を  
目指してるのか

滅亡を  
願ってるのか

興味が無い

わかった  
もんじゃないな

どちらに転ぼうと  
俺は俺の好きに  
生きる



そいつは随分と  
心地良さそうに  
微笑むばかり  
だったが

その実自分から  
俺に触れてくる  
ことはなく

決して自分から  
こちらに  
踏み込んで  
はこなかった

元より  
さして興味も  
無かったが

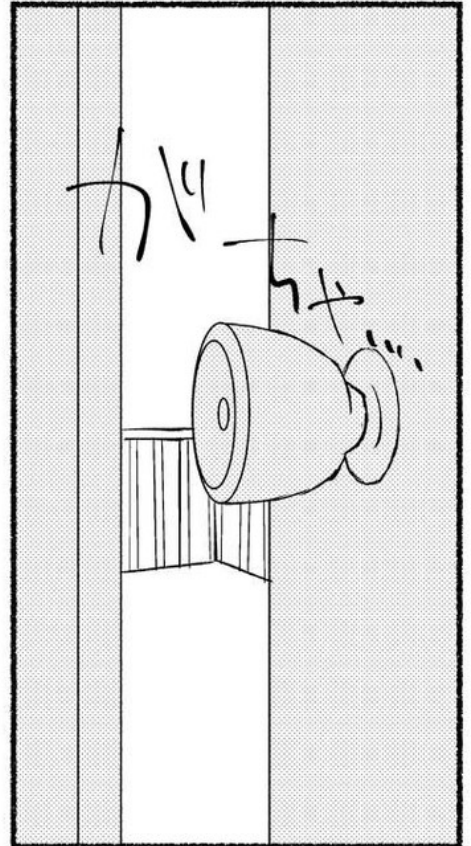
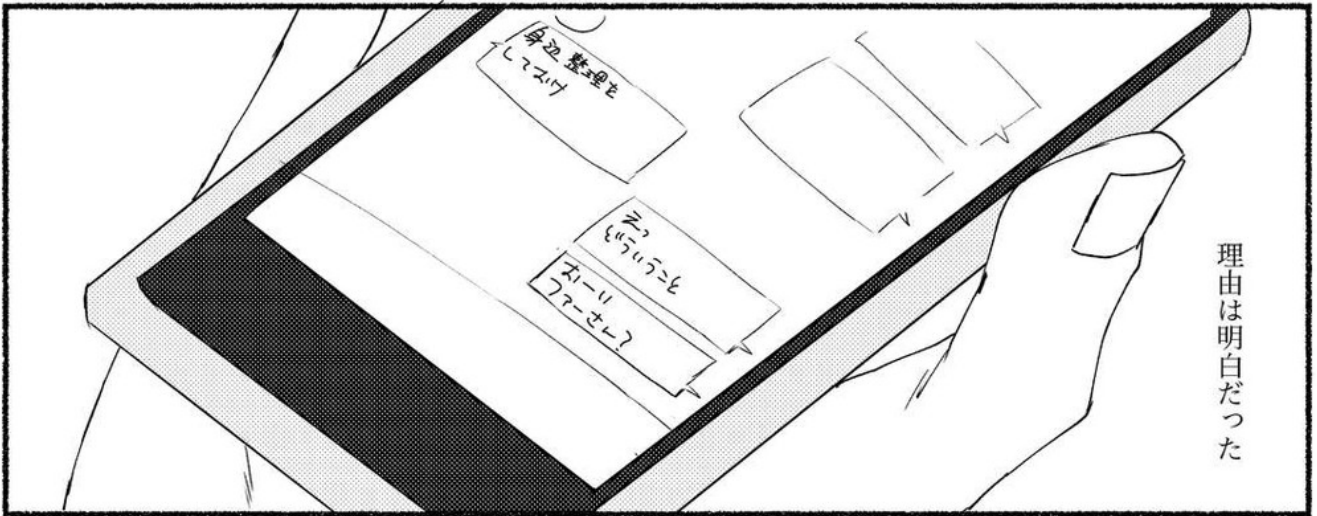




随分と満足げに  
笑うそいつの顔を

無性に腹立たしく  
思ったことだけは  
覚えている

理由は明白だった







帰宅したのは昨日だ

オイオイアタに最後に会ったの九月くらいの気がするんだけど…

その間ちゃんと食べてた？前より痩せてない？



つと、何コレ？

新居の鍵だ

本当に脈絡がないというか

こっちの話まるで聞いてないとこホント興奮する



て言うか

え？新居？引っ越すの？

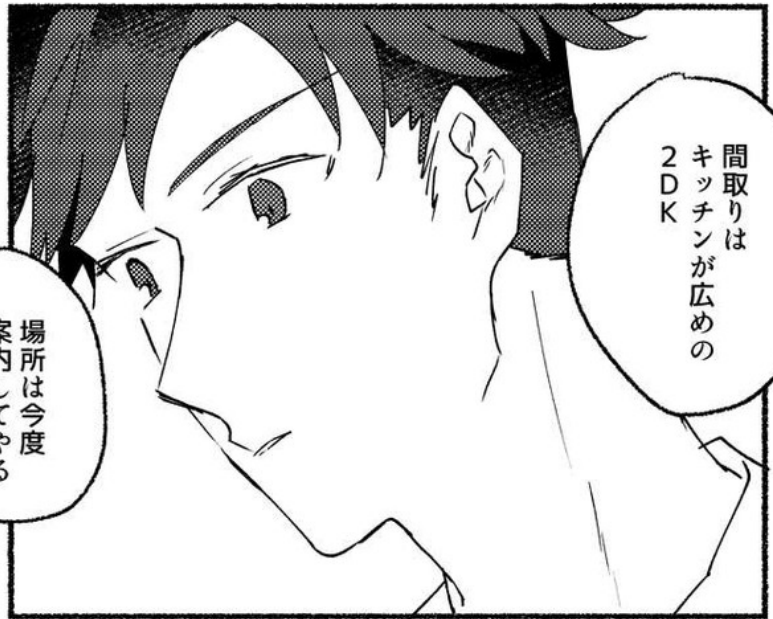
荷物の搬入は一週間後、

ほーぜん



…おい  
聞いているのか

場所は今度  
案内してやる



間取りは  
キッチンが広めの  
2DK



身辺整理を  
しておくと  
言っただろう

…あの  
それって



…ホント  
適わないな

アンタには

彼に出会う前の  
自分を

この程度の関係で  
停滞するなよ



世話係を  
したかったん  
だろう？

その願いを  
叶えてやる



もう  
思い出せない

ねえ  
ファアさん



空が青く  
見える理由

アンタは  
知ってる？



運良く  
滅びなかった  
からだ

この世界も

俺達も

全て



知人

バブさん  
ジムで知り合っ  
て以来何かと  
縁がある



……貴様  
少しは  
恥じらいを  
持ったらどうだ

見せつけてる  
のさ



サリエル  
高校時代の  
友人

ハルハルから  
もらった  
ジュジュ



今日の格好……  
暑そう……

大したこと  
ないさ



# ローミが 余った おまけ漫画

空が青く見えるのは  
太陽光のうちの短波長の  
可視光が大気中の微粒子  
等によって光の進行方向を  
不規則に変えていく散乱と  
いう現象を起こす原理によ  
るものだ、これを一般的に  
レイリー散乱と呼ぶ

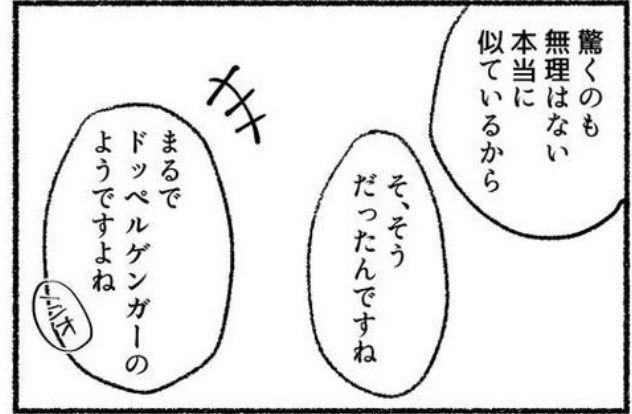
特大級のマジレス



# 地獄の異父兄弟

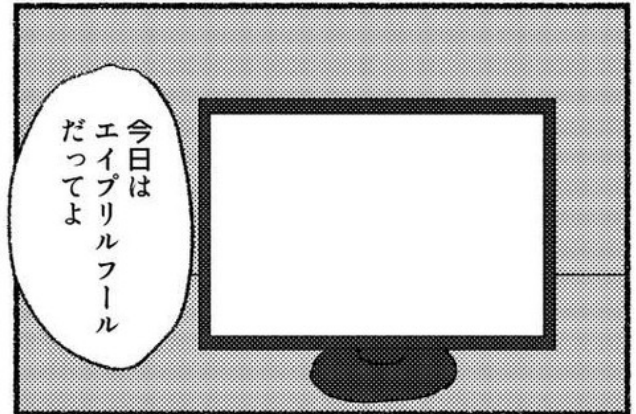


# ドッペルゲンガー





# 四月馬鹿



※無断転載、ネットオークションへの出品禁止※

## Skew Lines.

発行日:2019/10/13  
印刷所:プリントオン様

わびさびうどん/羽瀬未憐  
Twitter:@M\_irenned  
Pixiv:12232229  
Mail:regrehaze@gmail.com